

テクノロジー×業務知識×データ活用でお客様の行動変革を実現する 「データ活用プラットフォーム」 コンセプト&進め方



M&R 三井E&Sシステム技研株式会社



データ活用プラットフォームコンセプト

データ活用プラットフォーム構築による課題解決

統合型ERPパッケージなど大規模システムのリプレースを予定しているが、影響範囲が大きく、工期、コスト面から、計画が思い通り進まない

バラバラなITインフラにデータが点在しており、実現したいデータ分析が困難

同じデータであるがグループ企業間や部署間でデータの定義が異なり、データの統合や集計が困難

新たな価値を生むためのデータ活用方法がわからない



データ活用
プラットフォーム
構築により
課題を解決

“作りなおす”のではなく、“繋げなおす”

既存システムのデータを、システム単独で利用するのではなく、各システムが保有するデータを統合データ活用基盤に集約し、データを複合的、共通的に利用することで、安価でかつ柔軟性に富んだ基盤システム再構築や、デジタル変革への新たなデータ活用を実現

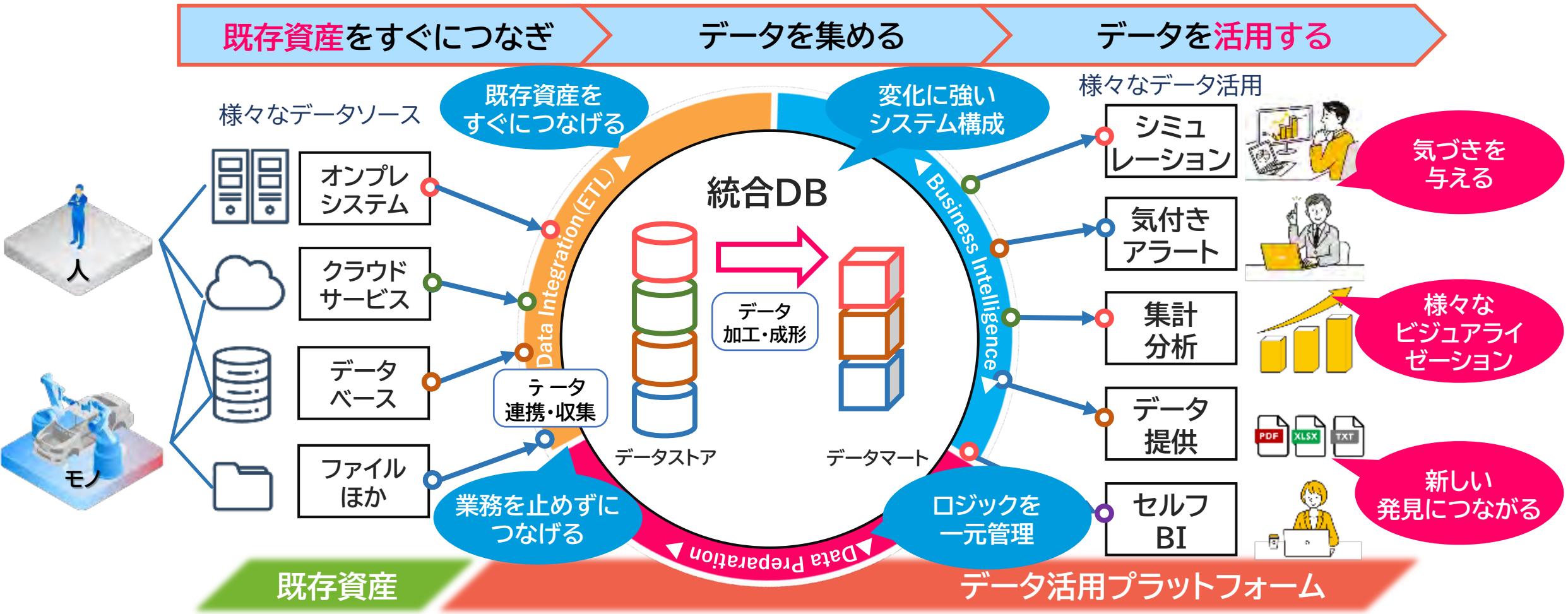


データ活用プラットフォームは開発コンセプトです

データ活用プラットフォームのコンセプト

データ活用プラットフォームについて

大掛かりな再構築を行わず、既存資産を活用した新たな価値の創出可能な開発モデル



データ活用プラットフォームのコンセプト

データ活用プラットフォームの特長



データ活用プラットフォームのコンセプト

データ活用プラットフォームの特長

利用者目線での工夫 利用者の目的やレベルに合わせた「気づき」と「安心感」を与える企画が必要
個人向けと組織向けは相容れない要素がある



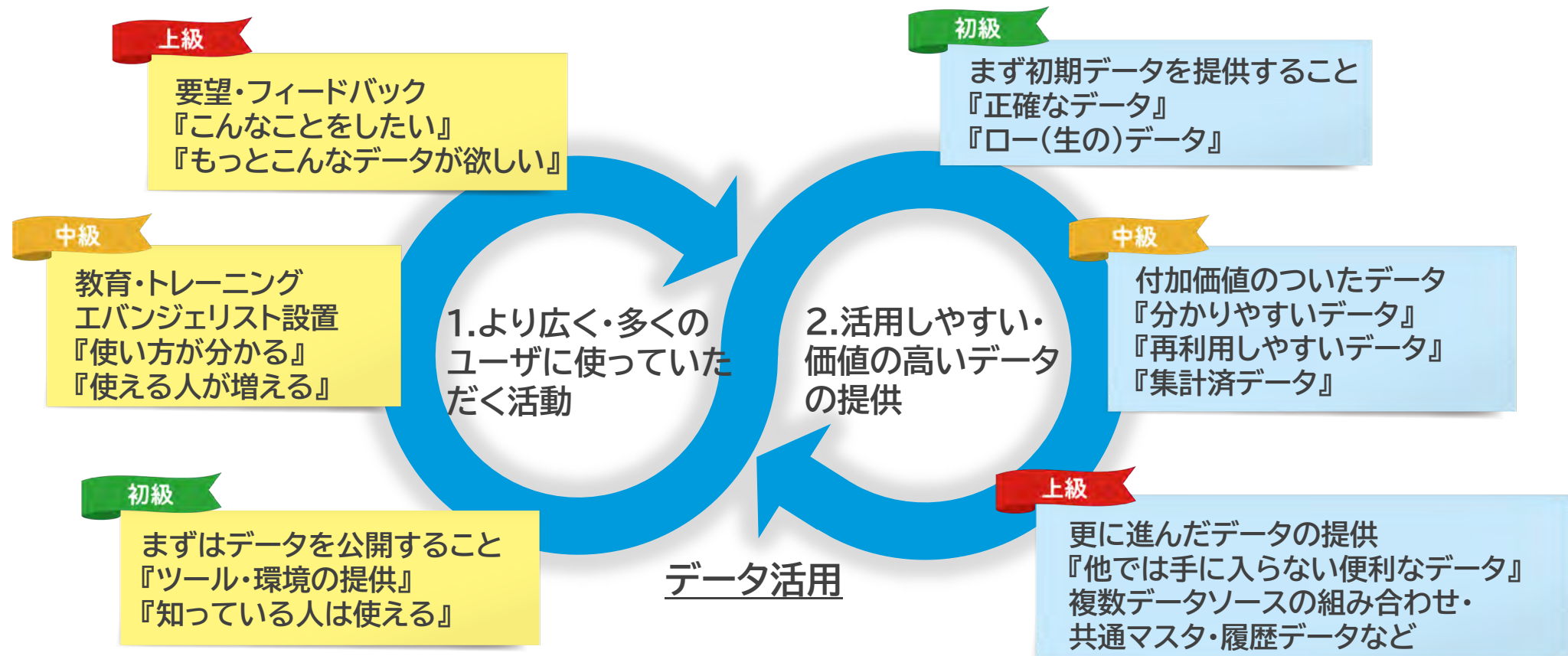


データ活用プラットフォーム進め方(導入ステップ)

データ活用のカギ

データ活用の成功 = 「より多く使ってもらうこと」×「使えるデータを提供すること」

企業内のデータ活用のベストプラクティスは、「1.より多くのユーザーにデータを活用するための広報・情宣活動」と、「2.ユーザーデータ活用の段階に応じて求められる、より良いデータの提供」が、同期を取って進めることが重要であると考えます。



活用しやすい・価値の高いデータの提供を実現するための「2-Step」

小さく始めるデータ活用PoCからスタート(スモールスタート)し、ユーザーからの価値・信頼を獲得しながら、本格的な基盤構築を行っていく

1. より広く・多くのユーザに使ってもらう活動

要望・フィードバック・さらに進んだ
データ提供の要求

相互連携

より使いやすい・より便利なデータ提供を通じて、
データ活用を支援

2. 活用しやすい・価値の高いデータの提供

Step1:データ活用のPoC

初級

中級

データ可視化&データマート構築のPoC

- ・ 可視化サンプル作成してデータマートをブラッシュアップし、Step2で利用されるデータマートの元を作成する
- ・ スモールスタート環境構築し、短期間・低コストでPoCを進める

Step2:データウェアハウス・データマート構築

中級

上級

データマートの構築

Step1のPoCで作成したデータマートを元に付加価値のついたデータを提供する

- ・ 『分かりやすいデータ』
- ・ 『再利用しやすいデータ』
- ・ 『集計済データ』

データウェアハウスを構築し、更に進んだデータを提供することで更なるDX推進を後押しする

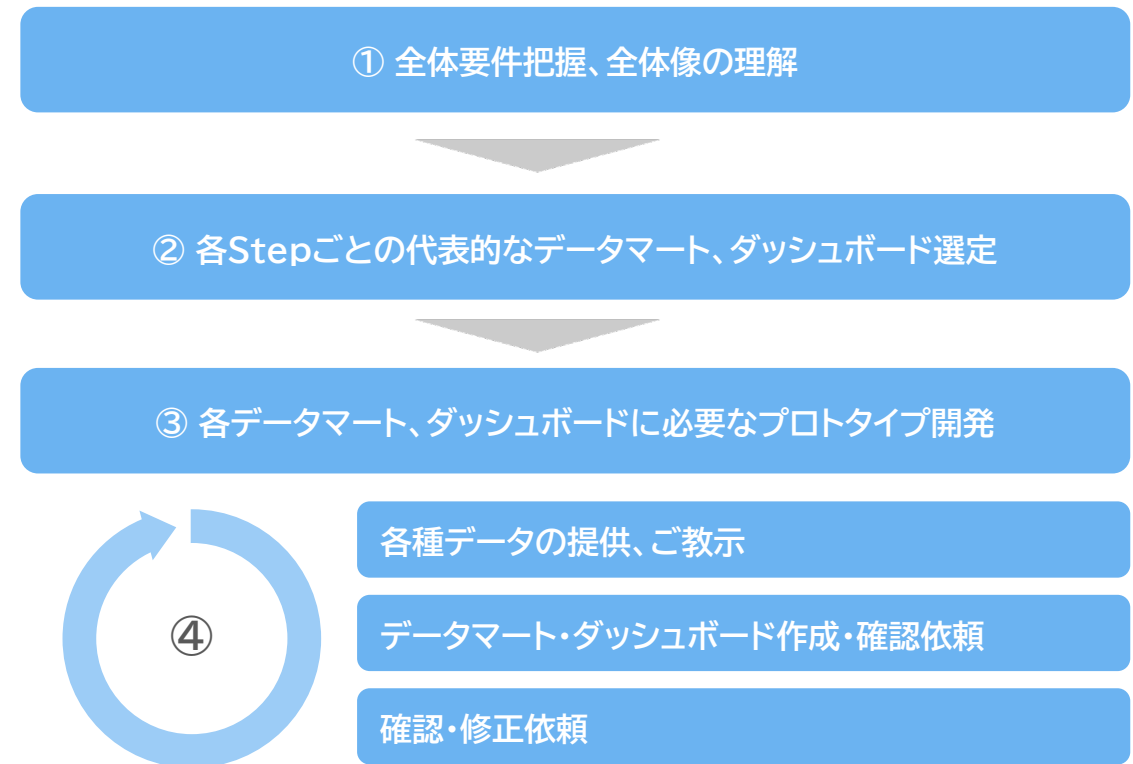
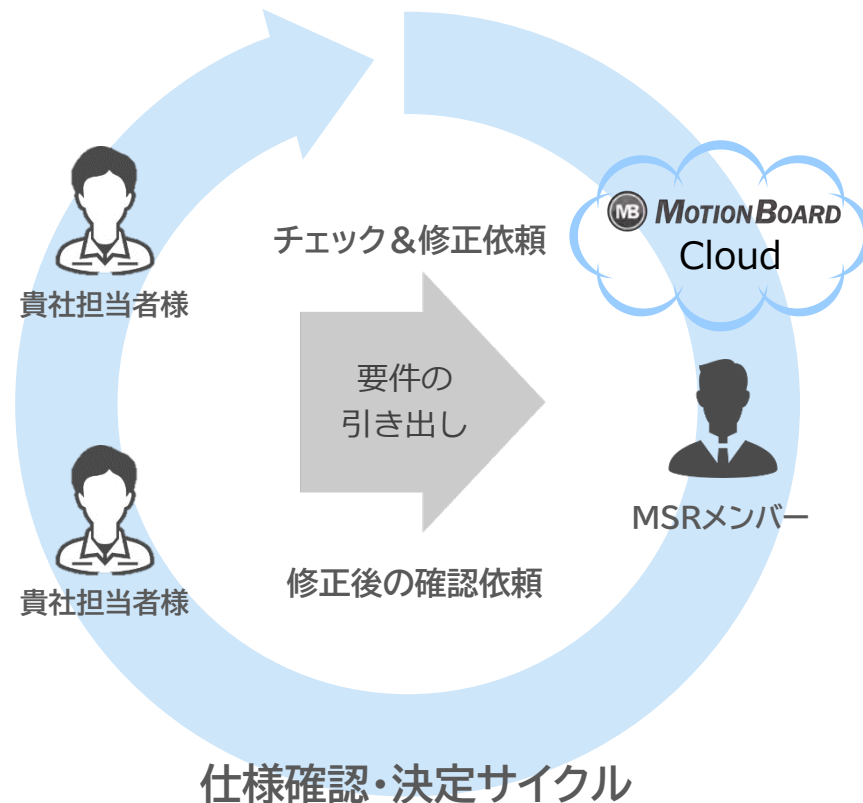
- ・ 『他では手に入らない便利なデータ』
- ・ 複数データソースの組み合わせ・共通マスタ・履歴データなど

M&S 三井E&Sシステム技研株式会社 でトータルサポート

データ活用PoCの進め方について

PoCの進め方について

打ち合わせ、課題管理簿による「要件ヒアリング、仮実装、確認」のサイクルをスピーディーに回し、アジャイル型でプロトタイプ版のデータマート、ダッシュボードの実装を行っていきます。



PoC対応スケジュール(参考)

PoCの進め方のスケジュールイメージとなります。

外部タスク 本PJタスク

項目	n月		n+1月		n+2月		n+3月	
マイルストーン	★定例 ミーティング	★定例 ミーティング	★定例 ミーティング	★定例 ミーティング	★定例 ミーティング	★定例 ミーティング		
フェーズ	テーマ1 スプリント1 スプリント2		テーマ2 スプリント3 スプリント4		テーマ3 スプリント5 スプリント6			
タスク	作業①② 作業③④		作業①② 作業③④		作業①② 作業③④		振り返り 次フェーズ検討	
外部タスク					必要に応じて都度連携 (作成成果物の共有など)			